

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-45	高等学校	芸術	音楽Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音Ⅲ 304	音楽Ⅲ 改訂版		

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通して実現できるように編修しました。様々な楽曲や音楽活動を通して、芸術文化についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、**個人の価値を尊重して、その能力を伸ばしながら生徒一人一人の豊かな情操や創造性を培う**ことを目指すよう配慮しました。また、教材や学習内容の設定において、**男女の平等や自他の敬愛と協力を重んずる態度、生命を尊び、自然を大切にすることを養うこと、ならびに伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、平和に寄与する態度を養う**ことができるよう配慮しました。

紙面の例

幅広い知識・教養を身に付ける



▲p.128 楽器から見る西洋音楽

個人の価値を尊重して、 能力を伸ばし、創造性を培う



▲p.70 創作

豊かな情操を培う

教科書全般

様々な表現や鑑賞活動を通して、豊かな情操と道徳心を培います。

男女の平等、
自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う

生命を尊び、
自然を大切にすることを養う

心街に (心街に)

作詞：山手樹生、作曲：山手樹生

女声、男声、合唱

12

合唱曲全般

▲p.54 心の街に…女声と男声が協調し合い豊かな響きを生む混声合唱を取り上げています。

四季の歌

作詞：山手樹生、作曲：山手樹生

女声、男声、合唱

12

▲p.12 四季の歌

伝統と文化を尊重する態度を養う

日本の伝統音楽の楽器編成

118

▲p.118 日本の伝統音楽の楽器編成

日本の音風景(四季の音楽)

120

▲p.120 日本の音風景

我が国と郷土を
愛する態度を養う

斎太郎節

作詞：斎藤太郎、作曲：斎藤太郎

女声、男声、合唱

20

金毘羅船々

作詞：山手樹生、作曲：山手樹生

女声、男声、合唱

21

▲p.20 斎太郎節
p.21 金毘羅船々

他国を尊重し、 平和に寄与する態度を養う



▲p.122 世界の音楽めぐり

構成・内容

- 様々な音楽活動を通して、**個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに、生徒一人一人の**豊かな情操と創造性を培う**ことができるような構成及び内容としました。
- 様々な鑑賞活動や我が国及び西洋の音楽史を通して、**幅広い知識と教養を身に付ける**とともに、**伝統と文化を尊重**することができるよう配慮しました。

教材の選択

- **個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに、生徒一人一人の**創造性を培う**ことができるよう教材の選択及び設定に配慮しました。
- 日本や他国の多様な音楽文化にふれながら、**我が国と郷土を愛する**とともに、**他国を尊重する態度を養う**ことができるよう教材の選択や資料の設定を行いました。
- 時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルの中から教材を選択し、音楽の多様なよさや美しさを感じ取りながら、**伝統と文化を尊重し、豊かな情操を培う**ことができるよう工夫しました。
- 楽曲に込められた思いやメッセージにふれながら、**生命を尊び、自然を大切に**思う心情や、**平和に寄与する態度を養って**いけることができるよう工夫しました。



図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、**健やかな身体を養う**こと。
- 〈第2号〉 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、**職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う**こと。
- 〈第3号〉 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、**公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う**こと。
- 〈第4号〉 **生命を尊び、自然を大切に**し、**環境の保全に寄与する態度を養う**こと。

〈第5号〉 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Voice	<ul style="list-style-type: none"> • 歌う活動を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 歌う活動を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 • 自然や四季の美しさ、生命の大切さをテーマとした楽曲を取り上げ、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮しました。〈第4号〉 • 日本をはじめ様々な国や地域の歌を通して、それぞれの特徴やよさを味わいながら、豊かな情操を培うとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 • 各地の民謡や芸能を取り上げ、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 	<p>p.4～59</p> <p>p.4～59</p> <p>p.6～8, 12～17</p> <p>p.4～59</p> <p>p.20～21</p>
Instruments	<ul style="list-style-type: none"> • 楽器の演奏を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 楽器の演奏を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 • 和楽器を実際に演奏し、その響きや奏法を体験しながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 	<p>p.80～97</p> <p>p.80～97</p> <p>p.94～97</p>
Dramas & Music	<ul style="list-style-type: none"> • 舞台劇術作品の鑑賞や歌う活動を通して、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、多面的に音楽をとらえ、豊かな情操を培うよう配慮しました。〈第1号〉 • 生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 歌う活動を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 	<p>p.100～115</p> <p>p.100～115</p> <p>p.104～115</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Appreciation	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な時代や地域の多様な音楽にふれ、その特徴やよさを味わいながら、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 • 世界の様々な音楽について、その個々の特徴を知るとともに、その背景となる文化や歴史にふれながら、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 • 我が国に伝わる音楽や芸能の系譜を学ぶとともに、その特徴やよさを味わいながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 	<p>p.120 ~ 142</p> <p>p.122 ~ 125</p> <p>p.118 ~ 119</p>
創作	<ul style="list-style-type: none"> • 音楽を形づくっている要素の働きを学ぶとともに、様々な創作活動を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 	<p>p.70 ~ 73</p>
西洋音楽史	<ul style="list-style-type: none"> • 西洋音楽の系譜を声や楽器などと絡めて学習し、幅広い知識と教養を身に付けるよう配慮しました。〈第1号〉 	<p>p.126 ~ 127 声から見る西洋音楽</p> <p>p.128 ~ 133 楽器から見る西洋音楽</p>
紹介文・批評文 音楽の魅力を言葉で伝える	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒が調べたことや感じたことを書き記し、互いに発表し合うことにより、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことを意図しました。〈第2号〉 	<p>p.143</p>

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

• **カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面**

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

• **環境にやさしい教科書**

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

• **見やすさに配慮した紙面**

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。また、伴奏譜も豊富に掲載しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-45	高等学校	芸術	音楽Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 ―― 教出	音Ⅲ 304	音楽Ⅲ 改訂版		

本教科書の四つの柱

音楽の幅広い活動を通して、表現及び鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとし、[Voice] [Instruments] [Dramas & Music] [Appreciation] の各ブロックを設け、教材や学習活動を選択、設定しました。また生涯学習を視野に入れながら、生徒一人一人の感性を高め、意欲を喚起するとともに、生徒が自ら考える主体的な学習や、個性を生かした創造的な音楽活動を展開していくことができる構成及び内容としました。

Voice

日本や西洋の歌曲からポピュラー音楽、そして我が国や世界各地の民謡まで、様々な種類の楽曲をバランスよく取り上げました。原語による歌唱も体験できるよう配慮しました。



▲p.50 たんぼぼ

Instruments

リコーダーやギターなどを用いた様々な曲種や形態の器楽曲を掲載しました。また、キーボード・アンサンブルや、和楽器アンサンブルなど、グループやクラスで取り組める楽曲も取り上げました。



▲p.82 ディズニー・メドレー

Dramas & Music

オペラやミュージカル、またはアニメ等の映像作品から魅力ある楽曲を選択し、鑑賞や表現活動を通じて理解を深めることができるよう配慮しました。オペラでは物語の展開を理解しやすいよう工夫しました。



▲p.100 オペラ『トゥーランドット』

Appreciation

西洋音楽は、[STRINGS] [WINDS] というように楽器の種類・形態ごとに配置し、音色や音楽の特長をとらえながら鑑賞できるよう工夫しました。また、我が国や世界の諸民族の音楽は、写真等を用いてそれぞれの特徴を的確にとらえることができるよう配慮しました。



▲p.136-137 STRINGS / WINDS

各種コーナー

「創作」 p.70

創作活動は、音素材の表現効果を生かしながら構成を工夫して音楽をつくる活動や、様式や演奏形態の特徴を踏まえ、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくることを促すような内容としました。



「グループで演奏を工夫しよう！」 p.98

グループで音楽活動を行う際の手順やポイントを示し、主体的な音楽活動を促す内容としました。教材としてハンドベル・アンサンブルとヴォイス&リズム・アンサンブルを取り上げました。



「Start up! Playing the Piano」 p.74

ピアノを用いた弾き語りの練習が行えるよう、3つのステップを設けました。練習曲には広く親しまれている童謡から選出し、初心者に向けた呼びかけの文章と合わせて掲載しました。



「音楽のシステム」 p.116

日本をはじめ世界には様々な音楽があり、それらの音階や拍子にはその基となるシステムがあることを紹介し、多様な文化を理解することを促す内容としました。



その他の特色

・充実した資料ページ

楽典&ソルフェージュ、楽器の音域表と配置例、作曲家年表、音楽史と史実、リコーダー運指表、ギター&キーボード・コード表などを豊富に掲載しました。

□絵⑩ ギター&キーボード・コード表▶



・リンクマーク 

楽曲や学習事項などが関連しているページを示すマークを設け、学習内容が定着するよう工夫しました。

・カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

・環境にやさしい教科書

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

・見やすさに配慮した紙面

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。また、伴奏譜も豊富に掲載しています。

	該当箇所	A 表現						B 鑑賞			
		(1) 歌唱		(2) 器楽		(3) 創作		ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ア	イ	ア	イ				
		楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌うこと。	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏すること。	様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。	様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。	音楽の構造上の特徴と美しさのかかわりを理解して鑑賞すること。	現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞すること。	音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞すること。	生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解して鑑賞すること。
結—ゆい—	p.4～5	○	○								
ふるさと	p.6～7	○	○								
海の声	p.8	○	○								
翼	p.9	○	○								
卒業写真	p.10	○	○								
桜の葉	p.11	○	○								
四季の歌：さくら さくら／海／里の秋／たき火	p.12～13	○	○								
平城山	p.14～15	○	○								
北秋の	p.16～17	○	○								
初恋	p.18～19	○	○								
斎太郎節	p.20	○	○								
金毘羅船々	p.21	○	○								
大海啊，故乡（海よ，ふるさと）	p.22	○	○								
도라지 타령（トラジ タリョン）	p.23	○	○								
発声のエクササイズ	p.24～25	○	○								
Tu lo sai（あなたは知っている）	p.26～27	○	○								
Nina	p.28～29	○	○								
Lascia ch'io pianga	p.30～31	○	○								
Die Forelle（ます）	p.32～33	○	○								
Ave Maria	p.34～35	○	○								
Wiegenlied（子守歌）	p.36	○	○								
Tout, tout pour ma chérie（シェリーに口づけ）	p.37	○	○								

	該当箇所	A 表現						B 鑑賞			
		(1) 歌唱		(2) 器楽		(3) 創作		ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ア	イ	ア	イ				
		楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌うこと。	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏すること。	様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。	様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。				
Ici-bas (この世では)	p.38～39	○	○								
КРАСЫЙ САРАФАН (赤いサラファン)	p.40	○	○								
風のつばさ	p.41	○	○								
Beautiful Dreamer (夢路より)	p.42	○	○								
The last rose of summer (庭の千草)	p.43	○	○								
Auld lang syne (蛍の光)	p.43	○	○								
Hey Jude	p.44～45	○	○								
Take me home, Country Roads (故郷へ帰りたい)	p.46	○	○								
I need to be in love (青春の輝き)	p.47	○	○								
Happy Xmas (War is over)	p.48～49	○	○								
たんぽぽ	p.50～52	○	○								
いざ起て戦人よ	p.53	○	○								
心の街に	p.54～55	○	○								
声のウォーミングアップ～あら野の果てに～	p.56	○	○								
Michael, row the boat ashore (こげよマイケル)	p.57	○	○								
So much in love	p.58～59	○	○								
楽典&ソルフェージュ	p.60～67	○	○	○	○	○	○				
創作	p.70～73					○	○				
Start up! Playing the Piano	p.74～79	○	○	○	○						
Down by the sally gardens (サリーガーデン)	p.80			○	○						
Dona nobis pacem (平和を我らに)	p.80			○	○						
「交響曲 第1番」から第4楽章	p.81			○	○						
ディズニー・メドレー	p.82～84			○	○						
羊は安らかに草を食み	p.85			○	○						
La cumparsita (ラ・クンパルシータ)	p.86			○	○						
「リュートのための古風な舞曲とアリア」から	p.87			○	○						
即興曲	p.88			○	○						
El cóndor pasa (コンドルは飛んでいく)	p.89			○	○						
新日本紀行	p.90～91			○	○						
うさぎ小屋のピアニストたち	p.92～93			○	○						
八木節音頭	p.94～95			○	○						
Picking up brides	p.96～97			○	○						
グループで演奏を工夫しよう!	p.98～99	○	○	○	○						
オペラ「トゥーランドット」	p.100～103							○		○	○
Nessun dorma (誰も寝てはならぬ)	p.104	○	○								
O mio babbino caro (愛しい父よ)	p.105	○	○								
Hail holy queen	p.106～107	○	○								
Beauty and the Beast	p.108	○	○								
Hello, Dolly!	p.109	○	○								
Over the rainbow (虹の彼方に)	p.110	○	○								
Somewhere	p.111	○	○								
Thunderbirds (サンダーバード)	p.112～113			○	○						
残酷な天使のテーゼ	p.114	○	○								
思い出がいっぱい	p.115	○	○								
春の海	p.120							○		○	○
雅楽「春庭花」	p.120							○		○	○

	該当箇所	A 表現						B 鑑賞			
		(1) 歌唱		(2) 器楽		(3) 創作		ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ア	イ	ア	イ				
祇園祭	p.120										
歌舞伎「東海道四谷怪談」	p.120										
箏曲「秋風の曲」	p.121										
能「松風」	p.121										
長唄「秋の色種」	p.121										
雅楽「御神楽」	p.121										
地歌「雪」	p.121										
雪音（黒御簾の音楽）	p.121										
オルティンドーとボグンドー	p.122										
ブルース	p.122										
ヨーデル	p.122										
密林地帯の人々の多声合唱	p.122										
スティールパン	p.123										
ティン・ホイッスル	p.123										
ウード	p.123										
イリンバ	p.123										
アルゼンチン・タンゴ	p.124										
フラメンコ	p.124										
ノンアク(農楽)	p.124										
ジンジュ(京劇)	p.124										
トゥンパン・スンダ	p.125										
ニャ・ニャック(ヴェトナムの雅楽)	p.125										
チベット声明	p.125										
声から見る西洋音楽	p.126～127										
楽器から見る西洋音楽	p.128～133										
歌曲集「詩人の恋」op.48 (R.シューマン)	p.134										
「レクイエム」から第2曲「怒りの日」(G.ヴェルディ)	p.134										
ゴルトベルク変奏曲 ト長調 BWV988 (J.S.バッハ)	p.135										
喜びの島 (C.ドビュッシー)	p.135										
ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 op.24 (L.v.ベートーヴェン)	p.136										
弦楽四重奏曲 第12番 へ長調「アメリカ」op.96 (A.ドヴォルジャーク)	p.136										
トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VII e-1 (J.ハイドン)	p.137										
サクソフォーン四重奏曲 変ロ長調 op.109 (A.ガラスノフ)	p.137										
交響曲 第4番 ホ短調 op.98 (J.ブラームス)	p.138										
交響詩「ローマの松」(O.レスピーギ)	p.139										
「組曲」op.25から「プレリュード」(A.シェーンベルク)	p.140										
世の終わりのための四重奏曲 (O.メシアン)	p.141										
ソナタとインターリュード (J.ケージ)	p.141										
涅槃交響曲 (黛 敏郎)	p.141										
24の前奏曲 (N.カプースチン)	p.141										
弦楽のためのレクイエム (武満 徹)	p.141										
水の協奏曲 (タン・ドゥン)	p.141										
組曲 第1番 変ホ長調 op.28-1 (G.ホルスト)	p.142										
アルメニアン・ダンス パート1 (A.リード)	p.142										